Tateyama City

東京都心に近い立地条件にありながら、
温暖な気候と輝く海、緑豊かな自然に囲まれ
恵まれた環境のもと、あたたかな人々と
地域の歴史や伝統・文化をはぐくんできた **館山市**

この素晴らしい財産を大切に守り
その魅力をより磨き上げ
新しい時代においても
なんだか **ほっ** とできる **「ふるさと」** であり続けたい

≪将来都市像≫ 笑顔あふれる 自然豊かな 「あったか ふるさと」館山

このまちの学校で　ともに学びましょう

子供が少なくなっています ･･･ ピンチはチャンス“新しきもの・より良き学校を創造”します
小さな“まち”だからこそ ･･･ 小さな学校を選べる“選択肢”があります
“令和”の時代だからこそ ･･･ “これからの学校に求められること”を目指します

令和６年“未来を担う子供達に良好な教育環境を提供するため”
館山市では「新たな学校づくり」に向け歩み出します

館山市　学校教育の目指す姿

“未来を担う子供達に良好な教育環境を提供するため”
「館山市立小中学校再編計画」策定（計画期間：令和６年度～20年度）

子供達の「生きる力」を育成します

「主体的・対話的で深い学び」の教育活動の展開により、児童生徒の学ぶ意欲を引き出し、人生を拓く「確かな学力」、自他の生命を大切にし、思いやりのある「豊かな心」、健康で安全な生活を実践し、活力溢れる「健やかな体」を育むことで『生きる力』を育成します。

「これからの学校に求められること」を実践する教育環境を構築します

一人ひとりの児童生徒が、自分の良さや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓ける、そんな子供達を育みます。

グループ学習の様子（房南小学校）

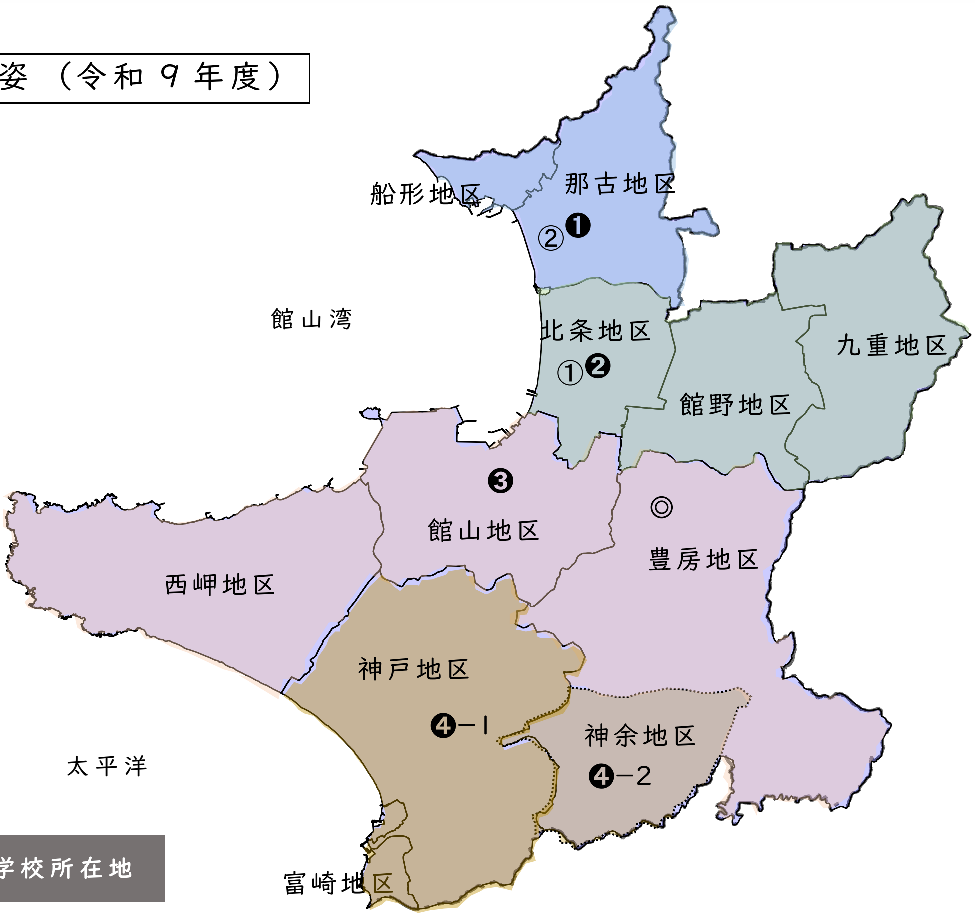
令和６年度千葉県総合体育大会（館山中学校女子ソフトボール部）

君にあった学校が そこにある

小さな“まち”ですが ･･･ 特色ある多様な規模の学校を運営します

現代社会の教育課題である ･･･「不登校」「一人ひとりの発達段階に応じた支援教育」を充実します

公立小中学校の姿（令和 9 年度）



丸囲み数値 ☞ 学校所在地

分類	番 号	学 区	学校 種別	学校 規模	開設年度等	詳細（頁）
小学校	❶	船形･那古地区	通常学校	小規模 （学年 1 学級）	令和 8 年 4 月（R14 以降未定）	9
	❷	北条･館野･九重地区	通常学校	標準規模 （学年2～3 学級）	令和 9 年 4 月	6～7
	❸	館山･西岬･豊房地区	通常学校	標準規模 （学年2学級）	令和 9 年 4 月	8
	❹－1	神戸･富崎地区･市内全域	小規模特認校（本校）	小規模 （学年 1 学級）	令和 8 年 4 月	3～4
	❹－2	神余地区･市内全域	小規模特認校（分校）	過小規模 （複式学級）	令和 8 年 4 月（R10 以降未定）	5
中学校	①	❷・❸・❹の学区	通常学校	標準規模 （学年 5 学級）	令和 9 年 4 月	10
	②	❶の学区	通常学校	小規模 （学年 1～2 学級）	令和 12 年度末 ①の学校と統合	－
共通	◎	市内全域	不登校･発達支援機能		令和 9 年度中（予定）	11

南房総地域“初”

小規模であるがゆえの「メリット」を最大限活かした　**小規模特認校を設置**

【　小規模特認校にて行う教育活動　】

○　一人ひとりの学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握し、補充指導や個別指導を含めた「きめ細かな学習指導」を展開します。

○　常に自分自身の意見や感想を発表する機会を持たせることで「説明力」・「プレゼン力」の向上を目指す取組を行います。

○　「体験・校外学習」・「異年齢での活動」など、少人数の規模を活かした機動的かつ多様性のある学習活動を行います。

○　地域住民の協力のもと「郷土の教育資源」・「学校周辺の自然環境」を最大限に活かした教育活動を展開します。

館山市の「小規模特認校」とは･･･

- 学区は“特例”として市内全域！　希望する児童は市内どの地区からでも通学できます
- 保護者の送迎負担を軽減します！（市内各所からスクールバスによる通学支援あり）

小規模特認校（房南本校）　令和８年４月開校　（❹－Ⅰ）

<table>
<tr><td>学校規模</td><td>１学年 10～20 人　全校児童 約 60～80 人 ※ 市内からの希望者により変動あり</td></tr>
<tr><td>学校の特色</td><td>

【 学校施設 】

○ 平成29年に建築された、市内で一番新しい小学校施設です。エレベーターが完備され、多様性を受入れられる態勢が確保されています。校舎内部は温もりを感じる木質感のある仕上げとなっており、中学校施設としても使用している最新設備を備えた充実した体育館、広い運動場を備えています。

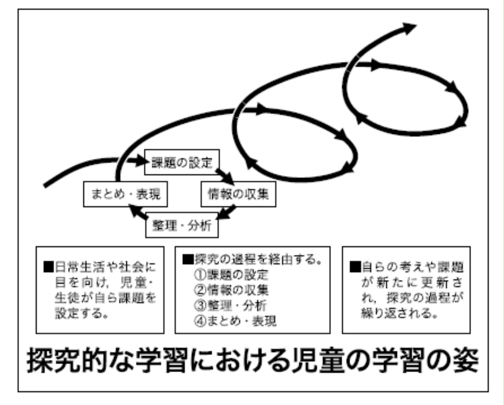
○ 併設する中学校は、令和 9 年度に移転となりますが、その中学校施設内に、新たに「こども園」機能を設置し、幼児教育と小学校教育の連携を図ります。

【 教育課程 】

● 学校名を含めた教育内容は、令和 6 年度～7 年度に決定します。

○ 現在の房南小学校で行われている教育内容は、地域の農産物（神戸レタス）や郷土の歴史（画家青木繁）を取り入れた、総合的な学習を実践しています。

○ 新たな学校においても、地域資源を活かした体験からの探求学習の実施について検討していきます。



</td></tr>
<tr><td>地域の特色

（人口は、令和6年4月１日時点）</td><td>

【 神戸地区 】 （人口：2,706 人 うち 15 歳未満 210 人）

● 神戸（かんべ）は、市の南側に位置し、安房国一宮である安房神社は、趣がある人気のパワースポット。砂防林によって守られてきた農地では、レタスなどの野菜や花の栽培が盛んに行われ、房総フラワーライン沿いにはレジャー施設が点在しています。

【 富崎地区 】 （人口：676 人 うち 15 歳未満 27 人）

● 富崎（とみさき）は、市の南端、海に面した地区で、起伏のある地形に古民家が建ち並び、近年では、空き家を利用した海辺での生活を始める移住者もいます。沖合は黒潮と親潮がぶつかる豊富な漁場であることから、昔から漁業が盛んで、明治期にはマグロ延縄漁で栄えました。
青木繁が「海の幸」を描いた地であり、安房地方で歌われる「安房節」発祥の地でもあります。

神戸レタス栽培

青木繁 記念碑

</td></tr>
</table>

小規模特認校（神余分校）　令和８年４月開校（❹－２）

全校給食（ランチルーム）

少人数授業の様子

学校規模	１学年２人～5人　全校児童 約20人 ※ 市内からの希望者により変動あり
学校の特色	【 学校施設 】 ○ 周囲の自然に調和したガラス張りで、自然光での明るさがある２階建の木造校舎です。教室は、可動式間仕切りにより用途に応じてスペースを変更可能となっており、スロープや車椅子用トイレを備えるなどバリアフリー化された造りです。 【 地域と一体となった学校 】 ○ 現在の神余小学校は、地区の全世帯がPTA会員となり、地域と密接に連携する創立１50周年の歴史と伝統ある小学校です。 ○ 学校周辺の豊かな里山環境や学校を支える地域力には、数多くの魅力があり、近年では移住者増加に向けた地域の取組により、児童数が増えています。小規模特認校として、市内のどこからでも通学しやすい環境（スクールバス運行）を整え、更なる児童数増加に向けた取組を進めています。 神余小ＰＴＡブログ ☞
地域の特色 （人口は、令和6年4月１日時点）	【 神余地区 】 （人口：592人 うち15歳未満40人） ● 神余（かなまり）は、市の南側に位置し、平砂浦へ繋がる巴川の上流に位置する谷集落です。市内の中でも特に自然豊かな里山の景観を保持し、日吉神社の７月例祭に奉納される“かっこ舞”は、市の無形民俗文化財に指定されています。

少子化時代の小さなまちであっても　クラス替えができる　標準規模校を維持

【 標準規模校（学年／2 学級～3 学級）のメリット 】

○ 少子化の時代においても、一定の学校規模を継続的に維持することで、多様な集団の形成が図られ、様々な経験ができる学校環境を提供します。

○ 子供達がより多くの友人と触れ合い、新たな関係を築く機会を提供します。

○ 一定の学校規模のため学級担任以外の多数の教員配置が可能となり、小学校における教科担任制やグループ別指導など、多様な学習環境を提供します。

北条・館野・九重地区　令和９年４月開校（❷ 現北条小学校施設）

学校規模	１学年／2 学級～3 学級（約 70 人～110 人）　全校児童 約 420 人～660 人
学校の特色	【 学校施設 】 ○ 市内の中心部に位置し、周辺には市役所や館山中学校、館山警察署など官公庁施設があります。館山駅にも近く、古くからの商店街や隣接する国道 127 号線沿線には新しい商業施設が多数あります。 学校施設は、平成 26 年に校舎全体の大規模改修を行い、令和 6 年にはプール施設を改築しました。校舎内は、教室脇にオープンスペースがあり、グループ学習など様々な教育活動に活用できるようになっています。なお、令和 9 年度の開校に向け、学童クラブ施設を新たに設置し、子育てしやすい環境整備を行います。

学校の特色

【 教育課程 】

● 学校名を含めた教育内容は、令和 7 年度～8 年度に決定します。

○ 現在の北条小学校では、「たくましく現代に生きる子どもの育成」を教育目標に掲げ、子供達の問題意識を中心に捉え、自由で柔軟性のある教育活動を行っています。

○ 現在の館野小学校では、「新しい時代を切り拓く子どもの育成」を教育目標に掲げ、地域農産物の「いちご栽培」などを教育課程に取り入れています。

○ 現在の九重小学校では、「あったかハートで、きらりと輝く個性を持ち、パワフルに生きる九重っ子の育成」を教育目標に掲げ、地域農産物の「梨栽培」などを教育課程に取り入れています。

地域の特色

（人口は、令和6年4月1日時点）

【 北条地区 】 （人口：12,583 人 うち 15 歳未満 1,268 人）

● 北条（ほうじょう）は、平久里川と汐入川に挟まれた館山市の中心地です。明治時代以降は安房郡の政治経済の中核として発展し、近年では、駅前を中心とした「リノベーションまちづくり」が進められ、カフェや書店など新しいスポットがオープンしています。館山湾（鏡ケ浦）に面する北条海岸は、日本の夕陽百選や恋人の聖地に選ばれる風光明媚なスポットです。

【 館野地区 】 （人口：3,234 人 うち 15 歳未満 329 人）

● 館野（たての）は、市東部の平地に広がる地域で、条里跡の遺跡や里見氏が拠点とした稲村城跡の史跡が残ります。米や野菜作りが盛んで、観光イチゴ園は地域を代表する産業であり、令和 6 年にオープンした「道の駅グリーンファーム館山」は、“農”をテーマとした観光拠点です。

【 九重地区 】 （人口：1,560 人 うち 15 歳未満 123 人）

● 九重（ここのえ）は、市の一番東側にあり、地区を横断する国道 128 号は、市中心部から外房方面への主要道路。豊かな平野部では、稲作や梨の栽培が盛んに行われ、JR九重駅から続く内房線沿線には、乳牛の放牧場も広がり、酪農のまち・館山の一面も伺うことができます。

ダイヤモンド富士

館山駅

館野ひまわり畑

館山・西岬・豊房地区　令和９年４月開校　（❸ 現館山小学校施設）

公開研究会（毎年実施）

学校規模	１学年／２学級（約 50 人～70 人）　全校児童 約 300 人～400 人
学校の特色	【 学校施設 】 ○ 戦国時代に里見氏によって築かれた館山城の麓に位置し、市内で一番大きな城山公園や豊かな自然が残り、観光客も多く訪れる沖ノ島（無人島）も近くにあります。新たな学校施設の開設に向け、令和７年度から８年度に校舎や運動場、学童施設のリニューアル工事を行います。 【 教育課程 】 ● 学校名を含めた教育内容は、令和７年度～8 年度に決定します。 ○ 現在の館山小学校では、教育探究の結果を「公開研究会」として公表し、子供達の学習力、教師の授業力向上の取組を実践しています。 ○ 現在の西岬小学校では、海辺の自然環境を活かした海洋教育を取り入れています。 ○ 現在の豊房小学校では、地域の協力により学校田における「米作り」を取り入れています。
地域の特色 （人口は、令和6年4月1日時点）	【 館山地区 】（人口：10,752 人 うち 15 歳未満 894 人） ● 館山（たてやま）は、市の中心部にあり里見氏ゆかりの城下町です。昭和初期に海軍の航空隊が置かれ、多数の戦跡も残っています。産直市場のある“渚の駅”たてやまも人気です。 【 西岬地区 】（人口：2,314 人 うち 15 歳未満 114 人） ● 西岬（にしざき）は、三方を海に囲まれた風光明媚な風景からホテルや旅館が立ち並ぶエリア。温暖な気候を活かした花作りが盛んで、「房総フラワーライン」は、絶好のドライブコースです。 【 豊房地区 】（人口：1,578 人 うち 15 歳未満 112 人） ● 豊房（とよふさ）は、市の南東部にあり土地が豊かで昔から稲作を中心に農業が行われてきました。畑地区は、全国でも有数の千両の産地としても知られています。 平砂浦海岸 城山公園

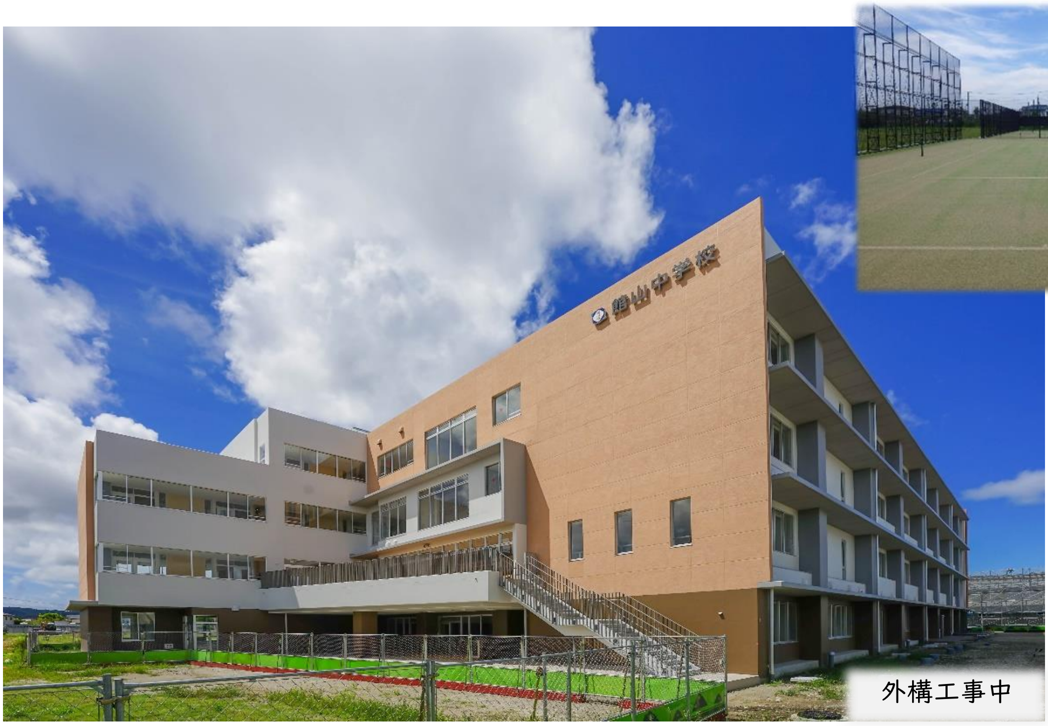
高速ＩＣに近く利便性が良い、標準規模よりちょっと小さな　小学校

那古・船形地区　令和８年４月開校　（❶ 現那古小学校施設）

学校規模	1 学年／1 学級～2 学級（約 30 人～50 人）　全校児童 約 200 人～250 人
学校の特色	【 学校施設 】 ○ 住宅地の中にありながらも、学校周辺には長閑な田園風景が広がります。新たな学校施設の開設に向け、令和 7 年度に校舎や体育館の改修工事や学童クラブ施設を新たに設置し、子育てしやすい環境整備を行います。 【 教育課程 】 ● 学校名を含めた教育内容は、令和 7 年度に決定します。 ○ 現在の那古小学校では、「自分の思いや考えを伝え合い、学びを深める」手だてを取り入れた授業実践を通して、主体的に伝え合い、学びを深める児童の育成を行っています。 ○ 現在の船形小学校では、「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい」を学校教育目標に掲げ、地域の協力による教育力を活かした学校教育活動を展開しています（海遊びなど）。
地域の特色 （人口は、令和6年4月1日時点）	【 那古地区 】 （人口:5,151 人 うち 15 歳未満 530 人） ● 那古（なご）は、坂東三十三番観音巡礼札所の那古寺の門前町として古くから栄えました。南側は平地、北側は山地で稲作を中心に野菜や酪農、果樹栽培などが行われ、市内でも富浦 I.C.へのアクセスが最も良く、都心との 2 拠点居住に向いているエリアです。 【 船形地区 】 （人口:2,693 人 うち 15 歳未満 196 人） ● 船形（ふなかた）は、古くから漁業が盛んで現在も館山有数の漁業基地です。大福寺（崖観音）から見下ろす漁港の風景は壮観で、房州うちわの生産地としても知られています。富浦 I.C.へのアクセス性向上などを目的とした船形バイパス整備が進められています。 房州うちわ 崖観音

館山中学校　令和７年４月　新たな施設へ移転します　（①）

学校規模	Ｉ学年／4 学級～6 学級（約 180 人～240 人）　全校生徒　約 550 人～670 人
学校の特色	【　教育課程　】 ○「自立」と「共生」「修文練武」を学校教育目標に掲げ、社会の変化に対応し、逞しく生きる生徒の育成を目指しています。 ○　学年複数クラス（標準規模）の学校規模により、各学年複数の教科担任教員が配置されるため、専門的な教科研究が行われています。 ○　少子化の時代においても、部活動の選択肢が豊富にあり、団体種目（野球・サッカー・バレーボールなど）も実施可能な状況です。



外構工事中

新校舎コンセプト

「アクティビティが見える学校」

どこにいても学校全体の活動（アクティビティ）が感じられる空間の中で、学年の垣根を超えた交流が生まれる校舎

中央にＩ階から4階へ続く大階段と吹抜け・屋外テラスを配置　「明るく開放的な空間」「生徒間や教職員との交流促進」を創出

小学校・中学校共通

現代社会の教育課題に対応するため　**不登校児支援・発達支援機能を充実**

令和９年度以降　学校再編に伴い使用しなくなる　（現）豊房小学校施設をリニューアル

【　不登校児支援・発達支援機能の充実　】

○「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指します。

○ 児童生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、不登校のきっかけや継続理由に応じた適切な支援や働き掛けができる環境を整備します。

○ 自閉情緒や注意欠陥多動性障害など、各種障害に対する理解促進と、子供達一人ひとりの特性に応じた指導計画を行います。

○ 教育支援センター機能（現／コミュニティセンター内）の移転や文部科学省が推進する「学びの多様化学校」の設置について検討します。

○ 民間事業者・支援団体との更なる連携強化やICTを活用した学習支援の確保を行います。

○ 発達に課題を持つ保護者・子供に対する相談窓口、各種支援機能の情報を一元化した“センター機能”の設置を検討します。

「学びの多様化学校」　～ 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策 ～

○ 不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する学校で国（文部科学省）の指定に基づき設置されます（令和５年４月／全国２４校）。

○ 廃校など学校設備をそのまま活用する「学校型」、小・中学校を本校とし、一部の学級のみを指定する「分教室型」・「分校型」など、多様な設置形態があります。

館山湾（鏡ヶ浦）

沖ノ島

高速ジェット船・帆船日本丸

九重（江田地区）ひまわり畑

海上自衛隊館山航空基地

館山市の小中学校に関する

ご質問やご相談は　下記へお願い致します

館山市教育委員会　教育総務課（学校再編推進室）

□　TEL：0470-28-4377

□　e-mail：kyousoumu@city.tateyama.chiba.jp

（掲載内容は令和６年１１月時点の情報です）

編集後記

館山市では、令和４年から市内全ての地区を対象とした学校再編の取り組みを行って来ました。

合言葉は、「未来を担う子供達に良好な教育環境を提供するために」、保護者をはじめ地域の方々と数多くの会合を重ね、その際「地域から学校が無くなるのは寂しいもんだが、子供たちがもっと良い学校環境で学べるなら協力しなきゃなんねぇべ」との言葉を多く頂きました。

その言葉を胸に、これから学校現場で働く教職員と共に、より良い学校づくりに向けて歩みを進めていきます。　　　　【 令和６年１２月　学校再編推進室職員一同 】

ＰＳ．小規模特認校の教育に関するパンフレットを現在作成中（近日公開予定）